

# 補聴器の種類

外からは気付かれにくい極小の耳あな形(CIC)から、ハイパワーな耳かけ形まで。ひと口にデジタル補聴器と言っても、さまざまな種類があります。  
ご使用頂くお客様の聴こえ具合はもちろんのこと、使用する用途や生活環境に合わせてアドバイスをさせていただきます。

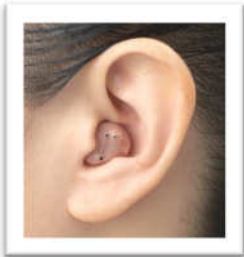
## 耳あな形

- 軽度** 聴力レベル30～50dBの軽度難聴の方
- 中度** 聴力レベル50～70dBの中度難聴の方
- 高度** 聴力レベル70～90dBの高度難聴の方
- 重度** 聴力レベル90dB以上の重度難聴の方



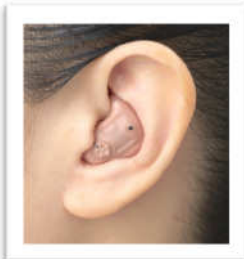
### CIC **軽度** **中度**

CIC「Completely In the Canal（完全に耳穴に入る）」の略  
極小サイズなので外から見えにくいので、電話、帽子などの使用時に  
おすすめです。  
また、聞こえがより自然で、風切り音や装用時の違和感も軽減することができます。



### カナル **軽度** **中度**

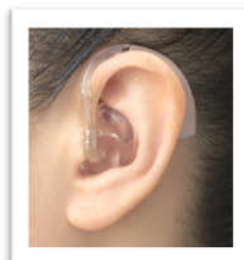
種類も豊富で適応範囲の広いタイプ。  
小さくあまり目立たず、安定感もあり CIC より操作しやすいのが特徴です。



### フルシェル **中度** **高度**

カナル補聴器でハウリングが多い場合は、耳のくぼみ全体まで覆うこの  
タイプで軽減することができます。

## 耳かけ形



### 耳かけ形 **軽度** **中度** **高度** **重度**

広範囲の聴力レベルに適応しており、操作がしやすいうえに種類が  
豊富です。  
カラーも取り揃えていますのでお好きな色を選ぶ事ができます。



### RIC **軽度** **中度** **高度** **重度**

レシーバー（音の出る部分）を補聴器本体から外して、耳のあな（外耳道）  
に入れるような構造を採用することで、RIC 補聴器は従来の耳かけ型  
補聴器と比べ、サイズが大幅に小さく、高音質で明瞭感があります。